

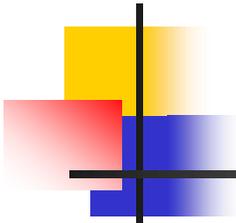
資産運用セミナー

『資産運用としてのコイン収集』

---

(株)銀座なみきFP事務所

2014年9月18日

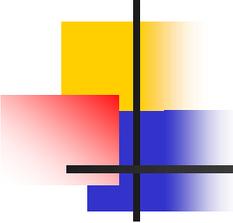


# 本日の予定

---

## 『資産運用としてのコイン収集』

- コイン評価のポイント(実際にコインをご覧いただきながら)  
**14:00~14:30**
- 今後の有望エリアについて  
**14:30~15:00**
- なぜコインへの投資が有効なのか  
**15:00~15:15**
- コイン収集の方法について  
**15:15~15:30**



# コイン評価のポイント

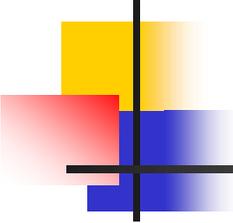
---

1. グレード(状態)

2. 希少性

3. 発行された国の人気度

4. デザイン



# コイン評価のポイント

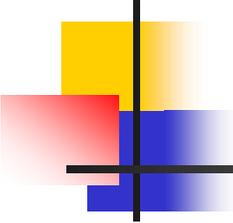
## 1. グレード(状態)

- ・未使用(UNC: *Uncirculated*)
- ・準未使用(AU: *About Uncirculated*)
- ・極美品(EF: *Extra Fine*)
- ・美品(VF: *Very Fine*)
- ・並品(F: *Fine*)

注) 左側は日本基準( )内は欧米基準

資産運用として収集する場合、対象はEF以上。  
眼力をあげるには数を見るしかない！

美品 = 美しいコイン  
ではない、優良可  
といえば可レベル



# コイン評価のポイント

## 2. 希少性

### コインの鑄造枚数

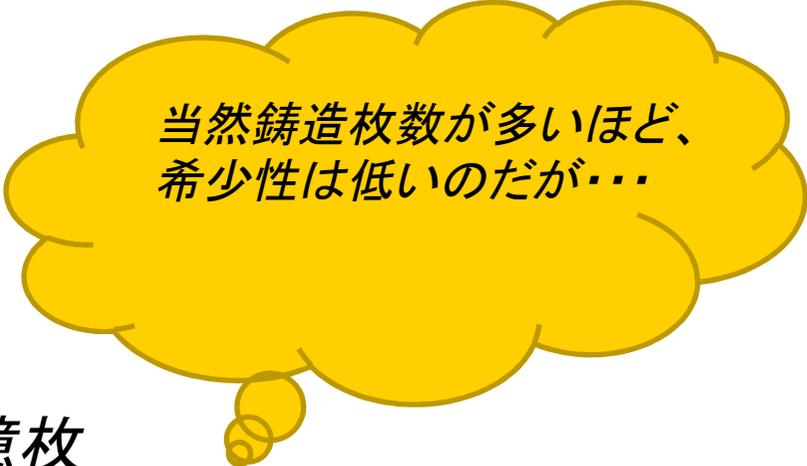
例1) 日本<sup>の</sup>明治一円銀貨: 約2億枚

例2) 英国<sup>の</sup>ビクトリア女王1クラウン銀貨(ジュビリー・ヘット): 400万枚

例3) フランス、ナポレオン5フラン銀貨(有冠): 約2200万枚

例4) 日本<sup>の</sup>旧明治二十円金貨: 約46000枚

例5) フランス、ナポレオン100フラン金貨(有冠): 約10万枚



当然鑄造枚数が多いほど、  
希少性は低いのだが...

# コイン評価のポイント

## 2. 希少性

### コインの残存枚数

例1) 日本の明治一元銀貨⇒比較的多く残っているが、状態の良いものはまれ

例2) 英国ビクトリア女王1クラウン銀貨(ジュビリーハット): 同上

例3) フランス、ナポレオン5フラン銀貨(有冠): 同上

例4) 日本の旧明治二十円金貨⇒残存枚数は400枚ほどか、希少性高い!

例5) フランス、ナポレオン100フラン金貨(有冠): 鑄造枚数の割にはよく見かける

希少性は鑄造枚数だけでは決まらない、残存枚数のほうが重要

# コイン評価のポイント

## 2. 希少性

例えば明治8年の一円銀貨が、米国のオークションで800万円で落札されたことがある  
希少年号⇒「特年」

同じコインでも発行年号によって希少性が異なる

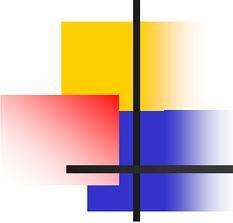
例1) 日本の明治一円銀貨⇒1875年(約14万枚)、1894年(約2200万枚)

例2) 英国ビクトリア女王1クラウン銀貨(ジュビリーハット): 同上1889年(約180万枚)、1887年(約17万枚)

例3) フランス、ナポレオン5フラン銀貨(有冠): 1862年(約2万枚)、1870年(約660万枚)

例4) 日本の旧明治二十円金貨⇒1870年(約46,000枚)、1877年(10枚)

例5) フランス、ナポレオン100フラン金貨(有冠): 1865年(約1500枚)、1869年(約4万枚)



# コイン評価のポイント

---

## 2.希少性

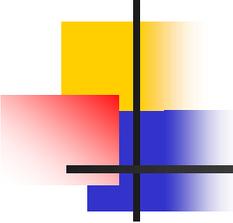
さらに鑄造所によっても希少性が異なる

例) フランス、ナポレオン5フラン金貨(有冠)の場合

- ・パリ鑄造所: 1861年～1870年で合計約68,000枚が鑄造された
- ・strasbourg鑄造所: 1862年～1869年で合計約29,000枚が鑄造された

最も希少性が高いのは1868年strasbourg鑄で789枚

都内コイン商で2007年VF～EFが12万円で売られていた！



# コイン評価のポイント

---

## 3.発行された国の人気度合い

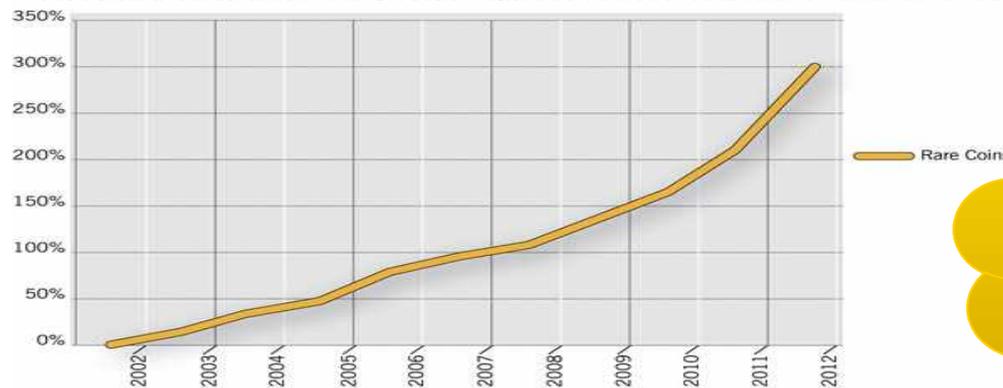
### コイン収集人口の多い国

- ・ヨーロッパは押しなべて収集家が多いが、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペインあたりは特に多い
- ・米国は世界最大のコイン収集国だが、コインの歴史が浅く銘柄は多くない
- ・アジアでは中国、インド人は金貨を好む、日本はローカル色強い

# 現在のコイン相場について

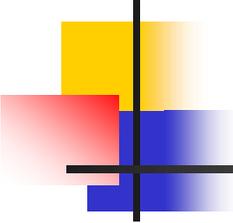
イギリスコインの場合、2002年から2012年の10年間で248.5%の上昇となった、年率複利換算で13.3%の上昇

Percentage growth of the Stanley Gibbons Rare Coin Index 2002-2012



この10年で12倍近く上昇したコインもあるex 1663年チャールズⅡ 5キニー金貨

注) 上記は英国の大手コイン商Stanley Gibbons社がまとめたRare Coin Indexの2002年～2012年の推移。このインデックスは1世紀から20世紀までの英国のレアコイン200銘柄の、オークション落札相場から算出したものである



# 今後のねらい目

---

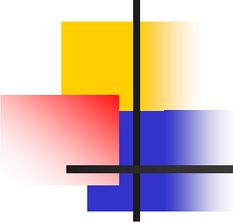
□2008年リーマン・ショック以降の中国コインの上昇は激しかったが、昨年あたりから頭打ち、**避けるべき市場**

⇒好状態で希少なコインは高止まり、数あるコインは値下がり

□2003年以降のロシアコインは波状的な上昇で今でも高い、  
ここも**避けたい**

□インドは英国統治下の金貨に人気集中、**割高感アリ**  
逆に古代の金貨は**割安に放置**⇒チャンスあり

□ASEANで銘柄が豊富なのはベトナム(アンナン)、カンボジア  
あたり⇒経済成長見込まれ**期待できる市場**



# 今後のねらい目

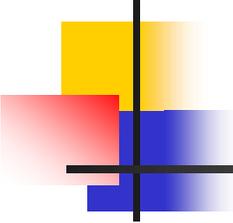
---

□イギリスの上昇が目立つ、狙うなら18世紀までのギニー(金貨)、19世紀以降のプルーフ貨、さらには20世紀のエリザベス5ポンドも期待できる

□フランスのナポレオンⅢ100フラン金貨は、鑄造枚数からみてまだ評価不足、ただしEF以上、できればAUもしくはUNCがあれば多少高くても買いたい

□南米の旧スペイン植民地の金貨(18世紀から19世紀初頭)、鑄造枚数は多いが、状態の良いものはレア、EF以上30万円は他の地域と比べ評価不足

□南米の20世紀金貨でペルーの100ソルは面白い、鑄造枚数は1950年～1970年の21年で僅かに約9万枚、特に1952年(126枚)、1958年(101枚)は希少、他にも1953年(498枚)、1970年(425枚)など買っておくべき



# 余話として…

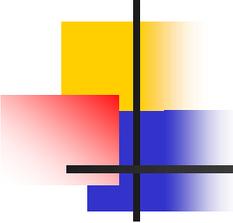
---

## □各国のコイン評価基準

- ・日欧は前期の通り、米国で生まれた数値評価  
⇒ 二大鑑定会社 **NGC, PCGS**  
⇒ MS × × 数字のつかない評価もある

□近年**グレード**による**価格差**が大きくなってきた  
⇒ 今後この傾向は強くなる

□近年人気を集める**試鑄貨**、**プルーフ貨**  
⇒ いずれもレア、おそらく値上がり



## 余話として…

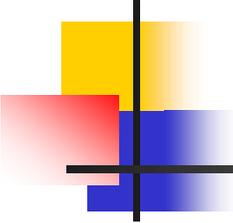
---

□マイナーコインも勝機あり

- ・ハーフクラウンサイズ以下の小型銀貨、銅貨
  - ⇒流通激しく状態悪い、好状態な希少なものあり
  - ⇒中国の銅幣、英国のペニー銅貨など

□日本のコインはなぜ人気がないか？

- ⇒旧20円、旧10円、円銀明治7,8年はグローバル
- ⇒ほかに世界に通じるコインはみあたらない
- ⇒ただし円銀は台湾、中国でやや人気あり
- ⇒人物の肖像がないからではないか…



# 余話として…

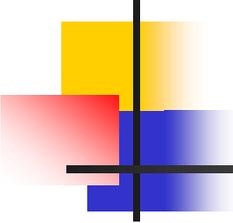
---

## □紙幣も面白い

- ・紙幣の歴史は浅い、50年ほど前の紙幣でも人気化する銘柄がある
- ・状態の良いもの、レアなもの、デザインに人気があるもの、人気がある国の銘柄…

⇒例) エリザベス女王、ジョージ5世、6世  
など旧英国植民地の紙幣

- ・見本紙幣



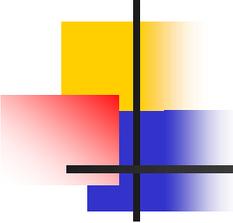
# 推奨したい集め方

---

□まずはジャンルを決めず、予算にあわせて数点  
ためしに買ってみる

□そのあと金貨に行くか、銀貨に行くか？  
⇒予算が随分と違ってくる

□銀貨なら、イギリスのクラウン、フランスのナポレオン、  
神聖ローマ帝国のターレル、スイスの射的祭・・  
⇒シリーズの完集



## 推奨したい集め方

---

□金貨なら、イギリスのソブリン、フランスのナポレオン20フランなど小型金貨から始めてみる、そこから英国5ポンド、フランス100フランへ進むのもいい

⇒状態は極力良いものを、最低EF、シリーズ完集した場合、オークションで高値がつく可能性大

# 地理的分散と質的分散

地理的分散と、  
質的分散に尽きる

## サイクル性資産

新興国株とコモディティ系資産

短所: 景気循環に沿って、3年～  
5年程度のサイクルで大きく  
上下動。価格変動リスク  
長所: 信用リスクは比較的小さい  
上昇時のリターンは圧倒的

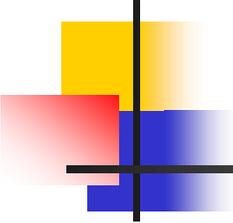
## 非サイクル性資産

マネージド・フューチャーズ

短所: 運用会社の信用リスク  
長所: 景気循環と関係ない安定  
した運用成果を得られる可  
能性がある

## 不動産や貴金属の現物

国内外の不動産や貴金属地金やコイン



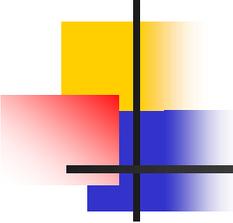
## お勧めの本& オークション

---

- 『アンティーク・コインで資産を防衛せよ』PHP 平木啓一 著
- 『コイン・コレクションのはじめかた』PHP 柘植久慶 著
- 『お宝貨幣なんでも読本』講談社 竹内俊夫 著
- 『世界のコイン収集』Daruma 小暮俊夫 著

- Standard Catalog of World Coins*
- Coins of England & The United Kingdom*
- Gold Coins of the World*

- 銀座コインオークション(11月)
- NIHON COIN AUCTION(4月)
- 泰星オークション(5月)
- CCFオークション(7月)

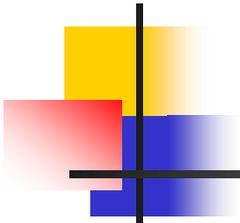


# 収集アドバイザーの費用について

## □資産運用としてのコイン収集アドバイザー

- ・一回の購入額が100万円以下の部分  
⇒購入額の3%(+消費税)
- ・一回の購入額が100万円超300万円以下の部分  
⇒購入額の2.5%(+同上)
- ・一回の購入額が300万円超500万円以下の部分  
⇒購入額の2%(+同上)
- ・一回の購入額が500万円超の部分  
⇒購入額の1%(+同上)

注)資産運用設計をご契約して頂いている場合20%割引です、  
コイン商に同行のうえ、コイン購入のアドバイスを致します、私が  
同行した場合、一見さんでも5-10%程度の値引きをいただけます



## 最後にちょっと宣伝

---

当事務所の「資産運用設計」サービス、お一人お一人のライフプラン、資産内容など伺い、最適な運用方法を提案させていただきます、契約期間は1年、費用は54,000円(税込)です。

- ・Monthly Report 無償
- ・セミナー無償
- ・コイン投資アドバイス 20%Off

ご清聴ありがとうございました・・・